

社会貢献の取り組み

For The Future

「YASKAWA 未来クラブ」の活動

YASKAWA未来クラブは、「NPO法人マナーキッズ®プロジェクト」の活動を支援しています。このたび、同団体が主催するマナー教室が、当社の本社がある北九州市内の小学校で開催されました。

マナーキッズ教室は、スポーツなどを通じ「体・徳・知」バランスのよい子どもを育てることを目的として以下の3つの内容で構成されています。

- 小笠原礼法総師範である鈴木万亀子先生による子供たち(生徒)への「道徳教育」と「マナー指導」

- 同じく鈴木先生による保護者への講話(テーマ:「家庭内でのしつけ」)
 - 体育の授業を利用したマナーキッズテニス教室
- 開講式の際にはほとんど声が出なかった生徒達も、教室が終了する頃には子どもらしい笑顔と大きな声で挨拶ができるようになりました。多数集まった保護者の方々、そして校長先生や教頭先生をはじめとする先生たちも、普段はなかなかしっかり時間をかけて教えることのできない道徳やマナーを、子供たちが楽しみながら学び身につけてくれたことを大変喜んでおられました。



マナーキッズ教室の様子

YASKAWA未来クラブは、今後もこうした青少年の健全育成や、医療・福祉、環境保護・緑化の取り組みへの支援を通じて、社会貢献に努めてまいります。

■お問合せ先: 人事総務部 広報グループ
TEL 093-645-8810 FAX 093-631-8837

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。

昨年10月から今年1月まで続いた駅伝シーズンにおいても安川電機の快進撃は続きました。

まず、福岡県代表24名のうち9名の選手を送り込んだ九州一周駅伝においては、当社選手だけで10個(全72区間)の区間賞を獲得。福岡県の三連覇に大きく貢献しました。ニューイヤー駅伝の予選となる九州実業団毎日駅伝では、連覇をかけて挑みましたが途中で順位を落とし3位。しかし、この駅伝における内容は、昨年よりも確実に戦力が充実していることを裏付け、ニューイヤー駅伝への期待が高まりました。また、毎年出場している中津・日田駅伝においても11連覇を達成。

そして本番となるニューイヤー駅伝では、前半15位前後と追い上げの許容内でレースを進め、4、5、6、7区で区間5位以内の走り

を連発。ジワリジワリと順位を上げ4位でゴールしました。スター選手がいない中、「全員が役割を果たす」という基本に忠実なレースを展開しました。

駅伝シーズン最後となる朝日駅伝においても、7区間で3個の区間賞を獲得し、チーム最高タイとなる3位でゴールするなど、駅伝において確実に成績を残せるチームに成長しました。

駅伝以外では、福岡国際マラソンで立石慎士選手が日本人初のペースメーカーを務め、大会新記録の誕生に大きく貢献しました。日本で最速と位置付けられる甲佐10マイルロードレースにおいても、2名の選手が安川新記録を達成しました。

このように、今シーズンの駅伝における安定した成績は、今のチームが当社の歴史上最強であると言い切れるくらいの状況です。

08年度になれば、新たな戦力も加わります。これからも安川電機陸上部の活躍に応援を宜しくお願いします。



小畑選手(左)から飛松誠選手へのタスキ中継(朝日駅伝より)

選手の声:

いつも陸上部を応援して頂きありがとうございます。全日本実業団駅伝では、4位入賞という良い結果を収める事が出来ました。個人的には、まだまだ走力・精神力等、足りない部分があると痛感しました。絶対的に、チームに必要とされるよう努力して行きたいと思います!!

小畑 昌之

◆2007年10月～2008年1月の主な戦績

日程	大会名	実績
10月19日～28日	九州一周駅伝	福岡県登録メンバー24名中、9名が当社選手。全72区間中、キムタイ選手3個、岡田選手2個、小畑選手2個(うち区間新1個)、立石選手3個の区間賞を獲得。
11月 23日	九州実業団毎日駅伝	7区間中、区間賞2個獲得で3位。
12月 2日	福岡国際マラソン	立石選手が日本人初のペースメーカーを務める。
12月 9日	甲佐10マイルロードレース	飛松選手が46分58秒、岡田選手が47分00秒の安川新記録を達成。
12月 9日	中津・日田駅伝	11年連続優勝を達成。
1月 1日	全日本実業団駅伝(ニューイヤー駅伝)	区間3位1人、区間4位2人、区間5位1人で後半浮上。出場37チーム中4位を達成。
1月 14日	朝日駅伝	出場23チーム中3位。3人が区間賞獲得。